

## 自転車にはヘルメットを！

### ～新年度にむけてのお願い～

明野小学校では、新年度から「命を守るための手段」として、自転車乗車の際のヘルメットの着用を強く呼びかけていきます。

平成20年の「道路交通法改正」ともなつて、警察や教育委員会から下記の「安全利用五則」を徹底するように指示を受けています。

#### 自転車「安全利用五則」

1. 自転車は車道が原則、歩道は例外
2. 車道は、左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る  
・飲酒運転 ・二人乗り ・並進の禁止 ・夜間はライト点灯・交差点での信号等の一時停止 ・安全確認
5. 子どもはヘルメット着用



しかし、「5. ヘルメット着用」に関しては、残念ながら本校だけでなく苫小牧市内を見わたしても、ヘルメットを着けて自転車に乗っている児童はほとんど見かけません。それに対して市内では、小学生の自転車と車の接触事故が多くあり、タイミングが悪ければ命に係わるような事故が、毎年何件も報告されています。

もちろん学校でも春先の交通安全指導を初めとして、各学級でも定期的に自転車の乗り方の指導はしています。子ども達も、その時は乗り方を気を付けようとする意識はあるのですが、実際に放課後や休日に遊んでいると夢中になって周りの様子が目に入っていないのが現実です。また転ぶ際も低学年の子の特徴として頭から落ちる場合が多く、非常に危険です。

学校で注意をしたり指導をしたりするのでは限界があります。今のままでは、いつ「死亡事故」につながってもおかしくないという強い危機感をもっています。

特に本校の校区は、大型店もあり交通量が多く危険です。4月から学校、家庭、地域が一体となって「ヘルメット着用の取り組み」をしたいと思います。ヘルメットの着用が定着していない原因として考えられるのが、

- ①かぶらなくても罰則がない。
- ②周りに、かぶっている子がいないから恥ずかしい。

特に「②かぶっている子がいない。」というのが大きな原因になっていると思います。本来なら苫小牧市をあげて取り組めればいいのですがそうするためには時間がかかります。まずは、明野小学校からヘルメット着用の子を一人、二人と増やしていき「着けるのが当たり前」の状況をつくっていきませんか。本校では、登下校の自転車使用を認めていないので、自転車の乗り方には各家庭に任せている状態です。さらに、ヘルメットを着用させるには費用がかかります。しかし、「万が一の事故に備える」のであれば、絶対にやるべきだと思います。そのためにも、各家庭での理解と協力が必要です。「子ども達の命を守るため」に、一緒に取り組んでいきませんか。